

JOB REPORT

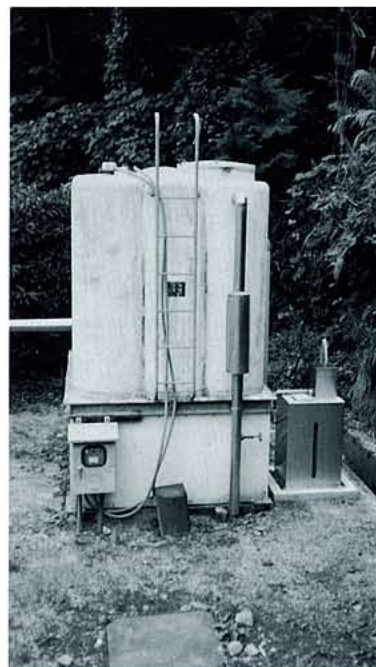
公園に塩素滅菌機を設置

福岡県大野城市にある「いこいの森中央公園」では井戸水を公園内のトイレや遊水噴水用等に使用している。その水の雑菌対策として井戸の貯水タンクへ2～3日ごとに直接ジア塩素を手で投入しているが、手間が掛かり濃度が一定しない。“飲まないでください”とは注意しているが、遊水施設であり子供が口にするおそれがあるので、安全なものにしたいということで改善提案見積依頼された。

提案見積の結果、取付工事一式を受注することになった。塩素注入濃度を一定にするため流量計連動式にし、また、いたずらを防ぐために屋外設置の滅菌機にカバーを付けることにした。これにより安全性が増し塩素濃度も安定して、ジア塩素の補給も一度で1か月以上もつので手間が省けると喜ばれている。また、遊水噴水は水を節約のためポンプで循環して使用しているため、ここにも滅菌機の設置の計画が進んでいる。

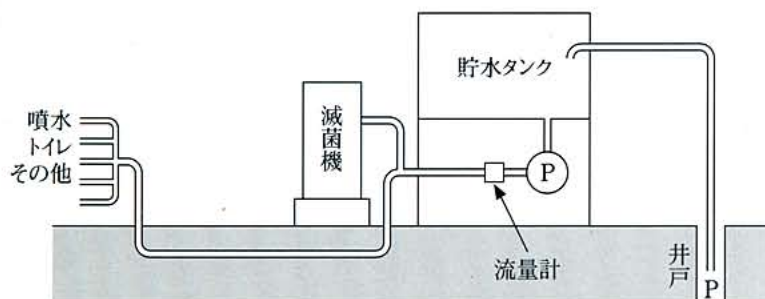


遊水噴水



左側 貯水タンク

右側 滅菌機



- 仕様
- ポンプ……………パルスコントロール式薬注ポンプ
出力40W 吐出量0.7～30ml/min
 - 流量計……………口径40mm
 - 薬液タンク……容量100ℓ
 - 滅菌機カバー…材質SUS製（製作品）

納入先 大野城市都市管理課いこいの森中央公園様